

企画提案書作成要領

1 業務概要

- | | |
|-------------|-------------------------------|
| (1) 業 務 名 | 2027 年国際園芸博覧会 浜松市屋外出展業務 |
| (2) 履 行 期 間 | 契約日から令和 10 年 1 月 31 日 |
| (3) 履 行 場 所 | 神奈川県横浜市瀬谷区地内（2027 年国際園芸博覧会会場） |
| (4) 契約上限金額 | 38,183 千円（消費税及び地方消費税を含む。） |
| (5) 業 務 内 容 | 「業務説明資料」参考 |

2 2027 年国際園芸博覧会 概要

名 称：2027 年国際園芸博覧会（GREEN×EXP02027）

開催期間：2027 年 3 月 19 日（金）～9 月 26 日（日）（192 日間）

テ ー マ：幸せを創る明日への風景～Scenery of the Future for Happiness～

- ・自然を活用した解決策＝Nature-based Solutions
- ・自然・人・社会が、共に持続するための最適解

テーマ趣旨：世界の多くの人々が、プラネタリー・バウンダリー（地球の限界）を意識し、これからの幸せな生き方を模索し始めている。私たちが生きる地球環境の基盤である自然、植物への理解を深め、私たちもその一部として、共に明日へと生きていく方法論「自然を活用した解決策＝Nature-based Solutions」を基本とし、自然・人・社会が、共に持続するための最適解を描いていく。

サブテーマ：自然との調和、緑や農による共存、新産業の創出、連携による解決

開催主催：公益社団法人 2027 年国際園芸博覧会協会

会 場：神奈川県横浜市瀬谷区（旧上瀬谷通信施設）

3 浜松市出展 概要

テ ー マ：浜松市の自然や歴史、風土、文化が織りなす美しい空間

テーマ趣旨：浜松らしさを感じられるなど本市の魅力や活力を最大限に引き出した展示であるとともに、博覧会の舞台で国内外に発信するにふさわしい、来場者の記憶に強く残るような質の高い展示を目指す。こうした展示の実現により、本市の魅力を広く発信すると共に、多くの来場者に本市を訪れるきっかけを提供し、「花と緑のまち・浜松」の推進にも寄与すること。

4 作成考慮

ア コンセプト

- ・2027 年国際園芸博覧会（以下、博覧会という）及び浜松市テーマを踏まえた展示とすること。
- ・業務目的を勘案したデザインのテーマ及びコンセプトとすること。

イ デザイン

- ・博覧会及び浜松市テーマを踏まえた独自の視点及びアプローチで、国内外に発信するにふさわしい質の高い展示とすること。
- ・展示区画は外周からの鑑賞だけではなく、区画内へも立ち入ることができる設計とすること。

- ・周辺の景観や立地状況を考慮したうえで、来場者が快適に鑑賞できるよう、緑陰やベンチなどに配慮すること。
- ・ガゼボやパーゴラの設置、緑のオアシスづくり、ミストなど暑さ対策に寄与する施設や工夫を入れ込むこと。
- ・使用する植物は会期中良好な状態で維持できるよう選定すること。
- ・展示区画全体の魅力を引き出すためにテーマやコンセプトに沿った演出が期待できる植物を選定すること。
- ・デザインに基づいた施工、維持管理（植栽の植替え含む）、撤去の各工程について実現可能なスケジュールとすること。

ウ 創意工夫

- ・博覧会協会策定の「サステナビリティ戦略」に基づき、植栽等のデザインや施工、維持管理、撤去に至るまで、環境に配慮した取組を積極的に検討すること。なお、提案においては、生物多様性保全や環境負荷に配慮した取組を1つ以上明記すること（デザイン、施工内容、植物選定、維持管理、資材のリユース、リサイクルなど）。
- ・デザインや資材（植物含む）の調達、施工体制等において、本市の魅力が最大限に発揮されるよう、また、本市への誘客や交流、「花と緑のまち・浜松」の推進が期待できる内容を盛り込むよう工夫すること。
- ・展示物に浜松市産を取り入れるよう努めること。
- ・展示植物の調達にあたっては、安定した供給体制を構築すること。
- ・植物の選定及び配置により、会期中のデザインの変化を工夫すること。
- ・出展が長期間であることを考慮し、来場者の満足感、多様な来場者への配慮などを工夫すること。

エ その他

- ・展示に使用する資材や植物等は一時的な借用物も可とする。ただし、借用物に係る保険は提案者の負担で加入すること。借用物がある場合は提案書内に記載すること。
- ・施工及び撤去において、当該業務区分の責任者に土木または造園施工管理技士1級または2級の資格を有する者を定めること。

5 展示区画の条件整理

(1) 場所

- ・区画面積：100 m²
- ・設置場所：日本ゾーン内。詳細区域、周辺環境図、配管・配線図等は参加意向申出者へ通知予定。

(2) 現地条件

現地環境	会場計画図参考（添付1）
年平均気温	16.2℃（横浜市平均）
年間降水量	1730.8 mm（横浜市合計）
年間日照時間	2018.3 時間（横浜市合計）
排水条件	自然流下
水道	本管 25A、水圧：0.15Mpa（転がし引き込みを想定しているが、詳細は判明次第提示）
電気	100V（転がし引き込みを想定しているが、詳細は判明次第提示）

建築	【建蔽率】 区画面積に対して 20%以内 【高 さ】 15m以下
造成	大がかりな造成は、博覧会協会と調整が必要になる。 50cm 以上の掘削は、届出制となる。
維持管理	【時間】 時間外作業を基本とする。 開園時間：開園 午前 9 時 30 分 閉園 午後 7 時（夜間開催(期間未定)）午後 9 時 30 分 ただし、演出の一つとして、実施する場合は可。 (博覧会協会と調整が必要) 【規制】 搬入物や関係車両の時間規制有り (受託後、博覧会協会と調整が必要) 【灌水】 博覧会の会場内灌水時に軽微な灌水可 (夏場に 1 回/2 日程度) 【農薬】 展示植物の害虫の巡回点検を行う。害虫駆除は、公衆に危険を及ぼさないようにするとともに、物理的または生物学的方法を優先すること。(農薬使用には申請が必要)
撤去	更地返却 (令和 9 年 12 月 10 日頃までを予定)
その他	バックヤードは無いことを想定すること。 従事者の共同スペースは有り。

- ・水道及び電気の使用は可とする。ただし、使用料金は当業務に含める。また、博覧会が設置する本管及び本線からの引き込み手間は当業務に含める。
- ・ **【参考】** 水道料：一律 4,000 円/通期
電気料：未定（詳細は判明次第提示） ※水道・電気とも 24 時間使用可
- ・水の演出を取り入れる場合は、循環式システムを採用すること。
- ・夜間演出は提案書には含めない。
- ・建築物設置の場合は、横浜市への建築確認申請に係る費用や手間も当業務に含める。

6 その他

- ・博覧会協会との調整により、デザイン変更及び市民参加のプログラムとの連携や協力を行う可能性がある。
- ・博覧会運営指針により、施工や維持管理条件などに変更が生じる可能性がある。
- ・博覧会並びに浜松市の現地取組に協力を依頼する可能性がある。具体的には、来場者向けのイベントやコンペティションの対応、浜松市の観光 PR 等を想定している。

7 参考資料

- ・会場計画図（添付 1）
- ・サステナビリティ戦略（添付 2）
- ・調達コード（添付 3）
- ・博覧会 HP 参照 <https://expo2027yokohama.or.jp/>